



常一小だより

令和3年12月7日
松戸市立常盤平第一小学校

12月号

学校HPアドレス <http://www.matsudo.ed.jp/toki1-e/>

児童数 96名

観天望気Ⅳ ～体力と気力～

校長 平松 澄明

感染者数の激減による状況の改善の喜びと第六波襲来や新たな変異株出現の不安の入り混じる中、学期末を迎えることとなりました。5年生の宿泊体験学習も無事、先週末に実施でき、これにより全学年の校外学習と5・6年の宿泊行事が“コンプリート”となりました。ご家庭ぐるみでご協力いただいた衛生面や健康面の管理の賜物と改めて感謝いたします。しかも、ここまですべて素晴らしい秋空の下の開催となり、子どもたちの「行いのよさ」も影響しているのでは…と思うほどです。

そんな明るい話題の一方で、1年半を超えるコロナ禍の中で子どもたちの心や体の変化が話題に上ります。この時代に学校生活を経験した人々に将来「コロナ世代」なんていう名前が付けられるかもしれません。ICTに堪能、リモートでコミュニケーションが取れて仕事ができるなどと明るい話題であればよいのですが、何かネガティブな問題が起こるとそれに結び付けられるのが心配です。

国立成育医療研究センターが実施した「[コロナ禍における 子どもの心とからだ～コロナ×子どもアンケート～](#)」(R3.8.5)によると、アンケート結果で次のような傾向が見られたそうです。

- ① 就寝時刻…小学高学年以上の3割に遅れや乱れ
- ② スクリーンタイム (勉強以外でテレビ・ゲーム・スマホの画面を見ていた時間) …4割以上は1時間以上の増加
- ③ 食習慣…間食の機会や量が増加したのが4人に1人
- ④ 対人関係…約半数が先生や大人に話しかけにくくなった
- ⑤ その結果、児童生徒の7割超が何らかのストレス症状を抱えている



こんな社会的傾向がみられる中(天気図)、常一小の個々のご家庭のお子さんでは(観天望気)どうでしょうか?常一小の子どもたちは、コロナ禍の中で、総じて健気に穏やかに生活をしています。しかし、体育の授業や外遊び等に活動制限を受けたこともあって、日常生活や持久走練習などで体力低下を感じさせるものがあります。「体力」とは素晴らしい身体機能や何かの種目に堪能である等の「運動神経」ではなく、何かを集中してやり遂げる力である「気力」の基となるものと考えます。睡眠不足や多すぎるスクリーンタイム、食習慣の乱れ、コミュニケーション不足等は、「気力」を萎えさせる要因です。例えば、「YouTube 視聴やオンラインゲームのやりすぎで寝不足。そして疲労蓄積で、やる気がそがれる…」といった構図が考えられます。

「校内持久走記録会」が行われます。この行事名が「大会」ではなく「記録会」である意味が大切です。順位ではなく自分の記録を伸ばすため、同じペースで走り完走を目指す集中力を育むための行事です。引きこもりがちな冬季の運動の機会確保(持久走や縄跳びの実施)の意味を再確認して、新型コロナウイルス感染の大きな波の渦中にある常盤平の子どもたちの将来に向けた生活改善に関する取り組みが、本校の差し迫った課題と考えます。

ずっと我慢を強いられていた子どもたちにとって、様々な取り組みの実施を通して笑顔を取り戻すきっかけができたことは、とても嬉しいことです。「気力」を支える心は、人の関わりの中で育まれます。この笑顔を大切にしつつ、目の前の子どもたちの「体力」と「気力」の維持と向上に、松戸一小さな学校で皆の心をつなげていきたいと思えます。「がんばろう 常一小!」



学校支援ボランティアについて

これまでのPTA活動に代わるものとして、「生涯学習」の視点に基づく学校支援の方法としての「学校支援ボランティア」の活動を具体化する段階に来たと判断します。なぜなら、常一小の子どもたちの生活は毎日展開されていますし、除草作業や登下校の見守り、読み聞かせ等のように保護者や地域の方々の常一小の子どもたちへの思いが活かされた活動がすでに実施されているからです。

これまでもご説明してきましたが、**保護者や地域の方々が、地域の大人として学校の教育活動で「やれること」「やってきたこと」「やってみたいこと」**を実行して支援するのが「学校支援ボランティア」です。そして、本校が現在保護者や地域の皆様のご助力・ご活躍をいただきたい分野は、「**登下校の安全確保**」「**環境整備**」「**学校行事の支援**」「**子育てをきっかけとした主体的な学習機会**」の4つです。

① 登下校の安全確保とは…、地域の大人が子どもたちの登下校に意識を向けること

登校時には、既にボランティアや町会の皆様にご活躍いただいています。そこにプラスして、お子さんの送り迎えをされている保護者の方が少し視線を上げて周囲の様子に気を配っていただいたり、お子さんを見送る際に姿が見えなくなるまで見守っていただいたりするといった意識を持つことも含みます。

② 環境整備とは…、子どもも大人も我が街常盤平の常一小と大切に思うこと

除草作業が中心です。フラワーボランティアの皆様にもご活躍いただいています。今後校舎内の清掃も職員と子どもたちだけでは手が回りきらなくなることが予想されます。計画的にご協力いただく機会を設けたいです。

③ 学校行事の支援とは…、子どもも大人も学校行事を楽しく盛り上げること

主に運動会の会場設営や当日の補助的な仕事をお子さんの活躍の応援の合間を見てお手伝いいただくイメージです。

④ 子育てをきっかけとした主体的な学習機会とは…、大人が子育てを楽しみ、「学ぶ」こと

既に活動実績がある「読み聞かせ」「おやじの会」（「コーラス」の活動も以前に話題になった記憶があります）などのように、子育てをきっかけにご自身の活動意欲を活かすものです。

このように、学校の教育活動を支援するために保護者はもちろん保護者OBの方でも地域の人として、個々ができる範囲で活動していただくということです。学校の要請による計画と学校主体の運営ですが、活動の周知や参加者掌握などについてもボランティア的に実施できる方が出てくるとよいと思います。本日の学級懇談会前の全体会でこの話題を取り上げ、ご質問等にお答えすることから始め、活動によっては試行的に3学期より始めていきたいと思っています。

今後の日程について

配布されたお便りでご確認ください。



※ 新型コロナウイルス感染症状況によっては、変更や中止があることをあらかじめご了承ください。